

第27回

岸本カバス・リサイタル

テノール 小林大作

ピアノ 村上弦一郎

朗読 森山 太

А.С.ПУШКИН

Н.РИМСКИЙ-КОРСАКОВ

リムスキー=コルサコフ における プーシキンの世界

ПЯТЬ ПЕСЕН

МОЦАРТ и САЛЪЕРИ

プーシキンの詩による5つの歌曲
作品51(全曲)

モーツァルトとサリエリ 作品48

我が日々は緩やかに流れ行き 作品51-1*
美しい女よ私の前で歌うな 作品51-2
しほめる花 作品51-3*
美しい人 作品51-4*
雨の日は暮れゆき 作品51-5 *本邦初演

モーツァルト × サリエリ
小林大作 × 岸本 力

天才モーツァルト!!
その才能を誰よりも認めたサリエリ。
しかし、感動はいつしか嫉妬に変貌し、
毒殺を決意する……。

40
ANNIVERSARY

カバス

チカラ キシimoto カバス コン서트

2013年10月11日 金 19:00開演 東京文化会館 小ホール

JR上野公園口駅前

入場料[全自由席]= 一般 4,000円 学生 3,000円

チケット取り扱い

二期会チケットセンター ☎03-3796-1831

東京文化会館チケットサービス ☎03-5685-0650

後援 ● ロシア連邦大使館 / ロシア連邦交流庁 (Rossotrudnichestvo) / 毎日新聞社 / 日本・ロシア音楽家協会
公益財団法人東京二期会 / 二期会ロシア歌曲研究会 / 二期会ロシア東欧オペラ研究会

マネジメント ● 公益財団法人東京二期会 お問い合わせ ● 二期会チケットセンター ☎03-3796-1831

第27回 岸本カバズ・リサイタル

1972年に日本音楽コンクールで第1位優勝、翌年日本フィル「第九」、大阪フィル「森の歌」のソロから、今年でデビュー40年となりました。ただひたすらロシアの歌に魅せられて、今日まで歩いて参りました。これもすべて変わらず私の事を応援して下さる皆様方のおかげと心から感謝しております。

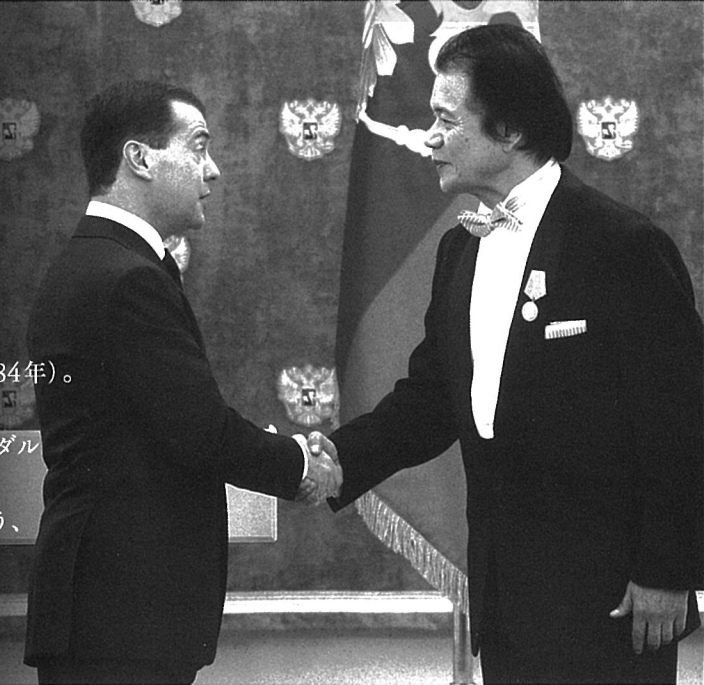
長い道のりの途上、文化庁芸術祭優秀賞・ショスタコーヴィチ歌曲リサイタル(1984年)。

日本でのロシア音楽の振興の功績に対して文化庁長官表彰賞(2010年)。

メドベージェフ大統領(当時)から、ロシア文化の功績を讃えるプーシキン・メダル(ロシア文化勲章・2012年)。茨木市市民栄誉賞(2012年)を頂きました。

これから先、何年歌い続けられるかわかりませんが、これらの賞に恥じないよう、命ある限りロシアの歌の魅力伝えて参りたいと考えています。

今回のリサイタルでは、オペラ「モーツァルトとサリエリ」を通してサリエリの孤独感を表現出来れば……と思います。——岸本力



2012.2.17 メドベージェフ大統領とモスクワ郊外の大統領公邸にて

岸本カバズ

KISHIMOTO Chikara

東京藝術大学卒業、同大学院修了。1973年、日本フィル「第九」、大阪フィル「森の歌」でデビュー。

1976年文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリア、オーストリアに留学。1977年ローマ・サンタ・チェチーリア・アカデミー修了。第41回日本音楽コンクール第1位、第17回海外派遣コンクール特別賞、第5回チャイコフスキー国際コンクールで最優秀歌唱賞。ジュネーブ国際コンクール銀賞。ヴィオッティ国際コンクール銀賞を受賞。

NHK-TV・ラジオなどに出演する他に、《第九》《森の歌》などのバス・ソロ、1984年の「ショスタコーヴィチ歌曲の夕べ」のリサイタルでは第39回文化庁芸術祭で優秀賞受賞。オペラでは《ボリス・ゴドゥノフ》国境警備をはじめ、《夢遊病の女》ロドルフォ公爵、《魔笛》ザラストロ、《青ひげ公》青ひげ公、《セヴィリアの理髪師》バジリオ、《モーツァルトとサリエリ》サリエリ、《コシ・ファン・トゥッテ》アルフォンソ、《フィガロの結婚》バルトロ、《後宮からの誘拐》オスミン、《ドン・カルロ》フィリップ2世、《シモン・ボッカネグラ》フィエスコ、《ペレアスとメリザンド》アルケ王、《ムツェンスク郡のマクベス夫人》ボリス等を演じた。1992年ショスタコーヴィチ作曲《交響曲第14番》「死者の歌」(秋山和慶指揮/東響)にバス・ソロで出演。1993年にはタン・ドゥン作曲《オーケストラ・シアターⅡ:Re》(岩城宏之指揮/東響)の世界初演に出演し話題を呼んだ。1998年ショスタコーヴィチ作曲《交響曲第13番》「パビ・ヤール」、2001年ショスタコーヴィチ作曲《ステンカ・ラーズンの処刑》(いずれも長田雅人指揮/オーケストラ・ダスピ)に出演。最近では、2003年デビュー30周年記念リサイタル、又2003年、2004年、2006年と日本フィルとの「ロシア民謡コンサート」を開催し成功をおさめた。ロシア音楽をライフワークにしており、未知の歌曲群の紹介、ロシア歌曲集の編集などの活動は目覚ましく、日本屈指バス歌手であると同時に、ロシア音楽の第一人者である。

2010年12月「永年にわたり、ロシア芸術歌曲や民謡を中心に優れた演奏をし、我が国におけるロシア音楽の普及・振興に多大な貢献をしたとして」文化庁長官表彰賞受賞。2012年2月ロシアのメドベージェフ大統領からプーシキン・メダル(ロシア文化勲章)受章。

キング・インターナショナルより「つかれた太陽 岸本カバズ・ロシア民謡集」をリリース。

武蔵野音楽大学講師、日本音楽コンクール、静岡国際オペラコンクール、チェコ音楽コンクール、学生音楽コンクール等の各審査員歴任。二期会幹事。日本・ロシア音楽家協会運営委員。二期会ロシア歌曲研究会及び二期会ロシア東欧オペラ研究会代表。

テノール

小林大作

KOBAYASHI Daisaku

東京芸術大学大学院修士課程修了。文化庁オペラ研修所第11期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員として一年間イタリアに留学。ローランド・ニコロージ国際声楽コンクールにて特別奨励賞を受賞。「ドン・ジョヴァンニ」のドン・オッターヴィオ、「コシ・ファン・トゥッテ」のフェランド、「魔笛」のタミーノ、「後宮からの逃走」のベルモンテ、「愛の妙薬」のネモリーノ、「椿姫」のアルフレード、「リゴレット」のマントヴァ公爵、「ラ・ボエーム」のロドルフォ、「蝶々夫人」のピンカートン、「アドリアーナ・ルクヴール」のマウリツィオ、「ムツェンスク郡のマクベス夫人」のジノーヴィイ等を演じ、その輝かしい声、高い音楽性、自在な演技は常に高く評価されている。2009年二期会ニューウェーブ公演「ウリッセの帰還」では忠実な羊飼エウメーテを演じ、「安定した歌唱力、自然な演技で、客席を惹き付けた。」と高い評価を得た。さらに最近ではロシアオペラ、ロシア歌曲の分野にも力を入れており、さらなる活躍が期待されている。

東京学芸大学准教授。日本声楽アカデミー正会員。二期会会員。



ピアノ

村上弦一郎

MURAKAMI Gen-ichiro

1971年、第40回 NHK 毎日音楽コンクール第一位を得、翌年ショパン協会の主催でデビュー。1973年桐朋学園大学卒業後、ルーマニアのブカレスト音楽院へ留学。各国のコンクールで上位入賞。1978年にはチャイコフスキー国際コンクールでファイナルディプロマを獲得している。以後も、国内、ヨーロッパ各地で、リサイタルをはじめ、室内楽、各オーケストラとの共演、放送局での録音、と幅広く活動。新作の発表にも意欲的に取り組んでいる。2005年2月、10月のリサイタル、ベートーヴェン交響曲「田園」「英雄」のトランスクリプションでも高い評価を受ける。2002年9月には、GEN 室内管弦楽団を結成し、国内での公演は10回を超える。2004年には渡欧し、ドイツ・ハイデルベルク公演、コンチェルトの夕べで好評を博した。ディヌ・リパッティ国際コンクール(ブカレスト)、日本音楽コンクールを始め数多くのコンクールでの審査員を務める。2000年4月~2001年3月ハイデルベルク大学客員研究員(ドイツ)。2003・2004年日本音楽コンクール審査員。2006~2009年全日本学生音楽コンクール審査員。2011年8月23日に「村上弦一郎デビュー40周年記念演奏会」(サントリー大ホール)開催。現在、桐朋学園大学教授。



ナビゲータ

俳優 森山太

MORIYAMA Futoshi

1996年から2000年まで劇団と契約し全国の小中学校をまわるミュージカル公演に参加、1000本以上の舞台に出演。2002年12月に、舞台音楽研究会主催オペラ『魔法の笛』に、役者として出演し、ザラストロ役を好演。オペレッタ『こうもり』のフロッシュ役では常に好評を博す。また、アカデミック・シェイクスピア・カンパニー『マクベス』、西村友氏指揮『兵士の物語』、『ハーメルンの笛吹き男』、花山ら氏演出『WとMとOの∞の悲劇~「ドグラ・マグラ」「オイディプス」より~』(主演)、岡田圓氏演出『夜叉ヶ池』、『雨月物語・蛇性の姪』(利賀演出家コンクール2007優秀演出家賞受賞作品)他、数多くの舞台に出演する。俳優として活動を続ける一方、オペラ演出も数多く手がけ(「サンドリオン」「イオランタ」「三部作」等)、その手腕を発揮。台本作家としても定評がある。現在では舞台・映像・CMと多方面に渡って活躍中。

